

# 「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1次）」の総括的な評価について

## 1 水戸のまち創生リーディングプログラムについて

「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少社会の進展に対応し、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた計画として、2015（平成27）年度に策定し、各種事業を積極的に推進してきたところである。

水戸のまち創生リーディングプログラムについては、若い世代が多様に働き、活動する場の創出に重点的に取り組んできたところである。その結果、20～39歳の人口については、目標値を下回り、大幅に減少しており、また、総人口についても、今後の減少が見込まれることから、引き続き、雇用の場の創出や子育て支援の充実など、若い世代の移住・定住の促進により一層取り組む必要があるものと評価する。

## 2 基本目標について

### I 生き生きと働けるしごとを創る

市内事業所数については、2019年度実績値が集計中であることから、補足指標として、官公庁を除いた市内民営事業所数を見ると、2016年度は2014年度より減少している。また、市民所得については、2017年度の実績値を見ると（遡及推計で比較）、年々増加しており、伸び率も目標値を大きく上回っている。このことから、安定的な経済活動が図られているものの、今後、人口減少に伴う地域経済の規模縮小が懸念されることから、より一層、雇用の場の創出に取り組む必要があるものと評価する。

### II 新たなひとの流れを生み出す

社会増（人口動態）については、目標値を大きく下回ったものの、基準値より増加した。また、観光交流人口については、2019年の実績値は集計中であるが、年々増加しており、2018年度の実績値は減少したものの、基準値より増加している。このことから、今後、人口減少が見込まれるため、より一層、人口流出の抑制、人口流入の促進に取り組む必要がある。また、本市へのひとの流れについては、緩やかに観光交流の拡大が図られたものの、引き続き、観光の振興やコンベンションの誘致に取り組む必要があるものと評価する。

### III 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する

合計特殊出生率については、2019年の実績値は集計中であるが、2017年の実績値は、目標値を上回ったものの、2018年については、大きく減少した。また、保育所待機児童数については、2017年度に待機児童ゼロの目標を達成できなかったものの、基準値より大きく減少している。このことから、安心して子どもを生み育てやすい環境づくりが着実に進んでおり、引き続き、子育て支援の充実や質の高い教育の提供に取り組む必要があるものと評価する。

### IV 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る

生活環境の満足度については、目標値を上回った。このことから、市民が安全に安心して暮らせる環境づくりが着実に進んでおり、今後、人口減少の進行が懸念される中、選ばれるまちを構築していくためには、引き続き、公共交通の利便性の向上、医療環境の充実のほか、安全な住環境の創出や災害に強い都市基盤づくりに取り組む必要があるものと評価する。

### 3 具体的施策について

計画の最終年度となる 2019 年度においては、総合戦略における事業 150 事業、具体的事業 261 事業を実施したところであり、具体的施策における取組内容・成果及び今後の取組方針については、資料 2-③のとおりである。

総合戦略（第 1 次）における評価内容については、2020 年度を初年度とする総合戦略（第 2 次）に位置付けた施策の推進に反映することとし、進捗している事業については、引き続き、着実に実施し、より高い効果を目指すとともに、進捗に課題等がみられるものについては、事業内容の見直し、充実等を図りながら、地方創生の取組を継続する。

